

## 島根県保育三団体陳情結果

8月27日に行った島根県保育三団体の陳情について、島根県議会議長より島根県保育協議会を通じて、次のような文教厚生委員会の審査結果（10/15現在）がありました。

～平成22年度新規分要望結果～

平成22年8月27日陳情/平成22年10月6日審査

【要望項目】	国に対する要望	
	1. 新保育制度の公的責任の明確化	趣旨採択
	2. 現制度の基準の堅持と向上	趣旨採択
	3. 民間保育所運営費の一般財源化には反対	継続審査
	4. 保育所施設整備予算の拡充	趣旨採択
	県に対する要望	
	1. 過疎地における保育対策の充実	趣旨採択
	2. 職員配置改善のための補助制度の更なる拡充	継続審査
	3. 5歳児健康診査の実施	不採択
	4. 給食の外部搬入には慎重な姿勢を	趣旨採択

## 予対請願署名・カンパ活動報告

今年度も予算対策国会請願署名並びにカンパ活動に、ご理解ご協力をいただき誠にありがとうございました。

すでに署名並びにカンパ金につきましては全私保連に送付させていただいています。

尚、この状況につきましては、各加盟園にご報告(FAX)をしています。またホームページにも掲載していますのであわせてご覧下さい。

## 島根私保連研修部研修会

島根私保連研修部第2回目の研修会は、11月25日(木)、大田市の「あすてらす」において、会計研修を開催し、60名の参加がありました。

講師には、今回も幼保経営サービスの管野哲先生をお迎えして、会計実務処理と法人運営についての研修でした。

この研修会は、最近の状況をもとに、予定していた内容を若干変更したもので、次のような内容でした。

- 【研修内容】
1. 「保育所・会計基準厚労省通知」の一部改正について
  2. 内部経理監査体制について
  3. 行政監査調書からみる会計処理の内容
  4. 施設整備について（安心こども基金）
  5. 幼保一体化について
  6. その他（会計基準・新会計の「素案」他）

次回第3回目の研修は、1月22日(土)出雲市において食育研修を開催する予定です。

尚、日程等開催要項については、研修部から12月中旬までに加盟園に直接ご案内します(あわせてホームページにも掲載する予定です)

## 全私保連中国四国ブロック会議研修会

全私保連の「子育てルネッサンス運動 シンポジウム」の一環である、中四国ブロック研修大会は、11月18日(木/午後)～19日(金/午前)、広島市・ANAクラウンプラザ広島において開催されました。

この研修大会のテーマを、“これからの保育に必要なこと”として、中四国から260名余り(内、島根県28名)の参加があり、次のような状況でした。

1日目(午後)の全体会では、厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課の少子化対策企画室・黒田秀郎室長による「子ども・子育て新システムの基本制度案要綱の説明」がありました。

分科会では、第1分科会(経営面)は、「遊育」代表取締役の吉田正幸先生による「新保育システムについて考える」として、新システムの動向と保育所の行方～改めて制度改革の光と影を考える～、新システムの構築に向けた論点について講義がありました。また第2分科会(保育面)は、中京大学教授の鯨岡峻先生による「再考：保育園の“保育の質”を高める」について、エピソード記述から保育を考える講義がありました。

2日目(午前)は、ルネッサンス・タイムとして、全私保連子育てルネッサンス運動推進チームの平野弘和常務理事より、全私保連が進めている「子育てルネッサンス運動」について、推進・状況説明等がありました。

また、記念講演では、白梅学園大学学長・東京大学名誉教授の汐見稔幸先生により、「これからの保育に必要なこと」について講演がありました。

保育制度が大きく変わろうとしていく中ですが、この2日間にわたり有意義な研修会となりました。

ご参加をいただき、ありがとうございました。

## 「子ども・子育て新システム」について

現在、最も重要視されている「子ども・子育て新システム」につきましては、「基本制度案要綱」にもとづいて、3つのワーキングチームにより検討を進められています。

このことは、全私保連ニュース等においてご承知のことと思いますが、新システムの内容や検討の状況等につきましては、「内閣府ホームページ」(<http://www.cao.go.jp/>)の「共生社会」政策担当・「少子化対策」のページに掲載されていますので、詳しくはご覧下さい。

もうめっきり寒くなりました。冬の訪れ・・・。(吉)